

報告

研修報告（豊中市社会福祉協議会 実践研修会）

豊中市社会福祉協議会が毎年開催している実践研修会には、全国から多くのコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が参加します。「とにかく現場を経験してほしい」との熱い想いに後押しされ、今回初めて参加させていただきました。そこでは、圧倒的な現場主義に基づくフィールドワークの実践を学ぶことができました。『ひとりぽっちをつくらない』（全国社会福祉協議会

刊）を著した勝部麗子さんは、CSW のトップランナーとして知られています。個人や地域が抱える課題に対して、決してあきらめることなく向き合うその姿勢を、明るい笑顔とわかりやすい言葉で、多くの人々や地域、さらには行政や国に向けて発信し続けています。街のど真ん中にある、地域のアイデアが詰まった「バナナ園」や、年齢を問わず誰もが立ち寄れる住民主体の居

場所など、そこには住民が主役となる多様な実践があふれていました。やり方は無限大。研修を通じて、私自身も「地域で何かをやりたい！」と心から思えるようになりました。その気持ちを引き出してくれたのは、豊中市社協の持つ“心地よい巻き込まれ感”。一人ひとりを尊重しながら、自然と地域の輪の中に引き入れてくれるその雰囲気があったからこそでした。

就労準備支援室だより

【利用者様インタビュー その1】

獅子子（ししこ）様 50代・女性
利用期間：2024.8～2025.9

就職先：一般企業 事務職

Q: あいネットを利用したきっかけは？

A: コロナ禍直前に離職してから家に籠って誰かと話すこともなく、働かなければと思いながらも動き出せずにいたとき、他の相談窓口からあいネットで就労支援をしていると聞き、勇気を出して電話をかけました。私は事務職に就くことを希望していましたが、パソコンができないことが不安だったため、パソコンの個人指導を無料で受けられると聞いて利用を決めました。

Q: あいネットでの活動について教えてください。

A: 週に1～2回、Word と Excel をマンツーマンで教えてもらいました。何でも相談でき、寄り添ってもらえる雰囲気でしたので、わからないことは

支援員の声かけで

安心できました。



遠慮せず何度でも聞き、ストレスなく学習を進めることができました。

他にも、利用者の体験談を聞く講座に出た時には、自分は一人ではないと思うことができました。お寺の坐禅講座に参加し、一人では踏み込めないう経験ができたことも印象に残っています。また、就職活動を始めてからは、ハローワークでも担当アドバイザーがついてくださり安心して相談できました。

利用終了まで1年以上かかりましたが、その間「自信がなくても大丈夫、急がなくてもいい」と声をかけて頂いたことが大きな安心につながりました。

Q: あいネットへの提案はありますか？

A: 私が受けたような支援を必要とする人が誰でも受けられたらよいと思います。そのために他の相談機関の支援内容を共有したり、市の広報誌などで紹介する等、読んだ人が一歩を踏み出すきっかけ作りをしてほしいです。

家計改善の雑学



「多重債務事件処理における面談義務はなぜ重要か」というシンポジウムに視聴参加しました。債務相談にあたり弁護士が直接面談すること無く（面談をしたとしても5分や10分程度）、ネットやLINEで連絡をやり取りすることが問題になっているそうです。弁護士からは家計状況や返済能力、債務に至った経緯などの聞き取りもせず、債務整理の詳しい説明もしないで受任に至る事も有るそうです。明らかに、自己破産や個人再生のケースであっても、任意整理（利息だけカットしてもらい、元本だけ支払う方法）を勧めて法外な手数料を取り、結局債務整理の返済が滞る事も有ると聞いています。相談者としては分からないことが多いため、弁護士が言う事は絶対と思うのも無理はありません。ネットで相談できますという広告には注意して、直接対面で面談出来る弁護士に相談する事をお勧めします。

柏市地域生活支援センターあいネット広報誌

じんけんぽん



2025年度第2号
2025.11.15/No.193

柏市地域生活支援センターあいネットでは、柏市から委託を受け、障害の有無や年齢を問わず、生活にお困りの方の福祉に関するご相談をお受けしています。

広報誌「じんけん」ぽんでは、日々の相談員の活動や報告を中心にお届けしています。ご相談いただくみなさん、関わりを持っていただくみなさんにあいネットを身近に感じていただければ嬉しいです。



もくじ

01：あいネットで行っている事業について

- ・総合相談（かしまる/重層的支援体制整備事業）
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・あいネット所内の紹介
- ・新所長よりご挨拶

02：研修報告（豊中市社会福祉協議会 実践研修会） 就労準備支援室だより（利用者様インタビューその1） 家計改善の雑学（多重債務に関するシンポジウム）

社会福祉法人 生活クラブ 風の村 柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0005 千葉県柏市柏 5-8-12 ラコルタ柏（教育福祉会館）1階

04-7165-8707

ainet@kazenomura.jp

月-金曜日（祝日除く）8：30-17：15

WEBSITE





あいネットで行っている事業について

- ・ 柏市にお住まいの方の相談窓口です
- ・ 生活全般の福祉に関するご相談を無料でお受けしています



総合相談（かしまる/重層的支援体制整備事業）

柏市福祉の総合相談窓口では子どもから、お年寄りまで年代性別を問わず、福祉にかかる様々な悩みごと（障害・介護・家族問題・就労等）を気軽に相談できます。相談は無料です。専門相談員がご相談内容を整理し、適切な関係機関へのご案内等、お悩み解決に向けた支援を行います、解決後も必要に応じてフォローを行います。

柏市では、令和4年度から重層的支援体制整備事業（かしまる）に関する業務を開始しました。

重層的支援体制整備事業とは、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、属性を問わない包括的な支援体制を構築する事業です。従来の福祉サービスは、高齢、障害、子育て、生活困窮といった分野ごとの「縦割り」になっていましたが、この事業

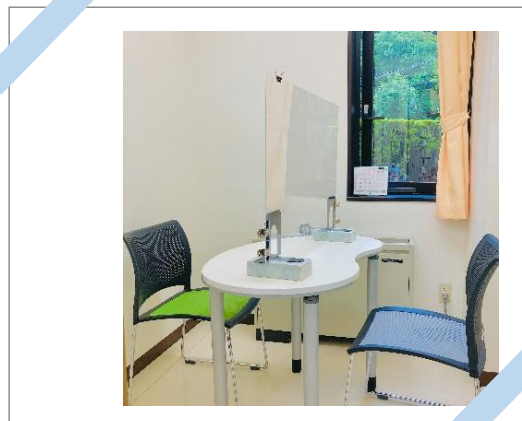
では、分野を超えた支援を一体的に提供し、地域全体で支え合う仕組みを構築することを目的としています。

相談者を支援するために関係者が集まる会議では、関係者間で目指すべき方向性を共有し、一人ひとりが地域の一員としての役割を再認識するとともに、地域全体が支援の主体となり、問題を共に解決するチーム支援を行っています。

あいネット所内の紹介



ラコルタ柏 1 階から入ると左手に黄色いカシワニくんがお出迎えしています。お電話、メールでの相談も受け付けております。お気軽にお越し下さい。



相談スペースを 4 つご用意しています。ご相談をご希望でお越しの際には、事前にご予約をいただければ、お待たせせずにご案内できます。

生活困窮者自立支援事業

自立支援事業は今年度 7 名の相談員で業務を行っています。経済的にお困りな方のご相談をお受けし、問題の整理・解決方法を一緒に考えます。お話をきき、下記 4 事業をご案内させていただきます。解決に向け、適切な制度・機関をご紹介します、つなぎをサポートします。

家計改善支援事業

借金が多く生活が苦しい、税金や家賃を滞納している方など家計の困りごとをご相談ください。家計を見える化することで、支出の見直しができ、また債務整理が必要な方は、法律相談へお繋ぎすることも可能です。家計改善の専門家とともに解決できる方法を一緒に考えます。

就労準備支援事業

学歴や就労のブランクがあり、仕事に就く自信がない方や就いても長続きしない方への支援です。まずは生活を整えるためにあいネットに通い、就労するための講座を受けることもできます。また、屋外での活動もあるので、ご自身でできることを見つけるきっかけにも繋がります。

居住支援事業

1) シェルター事業
住まいを失った方へ一時的に無料で衣食住を提供し、その間に転居資金を貯めるために利用できる事業です。
2) 地域居住支援事業
シェルター退所者や居住に困難を抱える方が安心して居住継続できるよう、見守りや環境整備支援をします。

住居確保給付金

離職や就業機会減少により減収し、家賃の支払いが困難な方への一時的な家賃補助支援です。また、離職等で減収したものの転居による家計改善が可能な場合は、転居費用補助支援があります。受給要件がありますので、お問合せください。

新所長よりご挨拶



あいネット所長
岩永牧人（いわながまきと）

令和 7 年 4 月からあいネットの所長になりました岩永牧人と申します。

これまで私は、佐倉市、千葉市、柏市、船橋市などの生活困窮者自立支援事業に関わってまいりました。同じ事業でも地域によって運営の仕方は様々で、それぞれの地域で多くのことを学ばせていただきました。これらの経験や学びを活かしながらあいネットの職務に当たっていきたいと思います。

あいネットは、これまで関係機関・関係各課の皆様と密に連携をさせていただきながら、様々な悩みごとを抱えている方やそのご家族からの相談に応じてまいりました。これからも変わらず皆様と一緒に考えながら相談者に寄り添った支援をしていきたいと思っています。

不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが何卒よろしくお願いします。